



会 長 古内 一二
副会長 山口 徹
幹 事 今野 義也

= 会長指針 =

お互いを理解しあおう

・・・ 例 会 記 録 ・・・

2月第3週例会 2023年2月16日(木)

ソング : それでこそロータリー ボックス : 25,000円 (報告者 新沼達央会員)
お客様紹介 : 第3分区ガバナー補佐 小山清之様 講話者 小松陽市様
本日出席率 : 66.67% 前回修正後86.11% (メンバー6名) (報告者 新沼福三会員)

★ 会長の時間 : 古内一二



今日は、プログラムの国際奉仕アワーで、末崎の小松様に講話をお願いしてありますし、ガバナー補佐の小山様が来訪されております。後程お話を戴きたいと思いますので、会長の時間は手短かにしたいと思います。

今朝もかなり寒く、マイナス気温の日々が続いておりますが、二十四節季で言う立春はもう過ぎ、普段外で働いていると、一日一日日が長くなっていると感じるこの頃です。

「冬きたりなば 春遠からじ」と言う「西風に寄せる歌」の一節があります。「つらい厳しい季節を過ごせばやがて春が来る。苦しい時期を耐え忍べば、幸せが必ず訪

れる」と言う内容のものです。私たちは一年が春夏秋冬に分かれていることが当たり前に感じていますが、地球全体でみれば、やはり限られたごく一部の国々だけです。

この四季があるということは、私はとても恵まれたことだと思います。物事にも「節目」と言うものが有ります。特に日本人はそれを重んじ、それがまた日本文化の美しさでもあると思います。季節が変わるたびに服装が変わり、食べるものが変わり、住まいや祭りなどとりまく環境が変わります。そしてなにより、身も心も一新して新たなスタートを切る切っ掛けになります。古来中国では、四季をそれぞれの色にたとえました、春は青色、夏は朱色、秋は白色、冬は黒色です、この名残が「青春」と言う言葉になって今日に伝わっております。まだまだ寒い日が続く毎日ですが、この寒さも四季のあるこの国に生まれたことへの喜びと感じたいものです。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より トルコ シリア地震被害による災害義援金の願いが届いています。

1人1,000円を目途 締め切 3月20日

2 東海新報より 東日本大震災特集企画広告掲載の願いが届いています。

掲載料金 5,500円 締め切 2月末 掲載日 3月11日朝刊

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

国際奉仕アワー：小松陽市様講話



末崎町にお住いの 80 歳？

商社マンとして海外を回るお仕事をされていた時、ヘッドハンティングされた後の経験談をお話いただきました。

南北アメリカ大陸について、いくつかの逸話を列挙したいと思います。

アラスカ～パタゴニア（アルゼンチン）まで

・アメリカの先住民（インディアン）について

インディアンは我々の仲間。赤ちゃんの時に出る青痣（蒙古斑）がその表れと考える。

インディアンは約 3 万年前ベーリング海峡を渡り、米大陸に徒歩で渡ったエスキモー及びイヌイト等原住民の事 仕事をしない酔っ払いが多い。

・アラスカ石油パイプ輸送の件

石油パイプを運んだ船が、帰るときは空っぽだったため、社長から苦言。

そこで、檜などの木材を積み日本へ向け運んだ。

黄色いダイヤ「数の子」は現地で食べる習慣がないため、これも日本へ向け輸出。

・オレゴン州ポートランドでは社長宅に居候

ドット・スレイトン家の件 レイクオスウィゴ在住 丸太と角材の販売 フィンランド系の移民、おばあちゃんには大事にして頂き「名犬ラッシー」の話をする事で英語の勉強になった。

英語が上達したら、日本食レストラン「紅家」に連れて行ってもらう約束だったが、実現せず

・パナマ運河 太平洋側バルボア～クリストバル大西洋側迄約 80 km 8～10 時間を通航

スーパーバイザー又はコマンダーあるいは小松と呼ばれた

・南米エクアドル（首都キト）港町兼商業都市ガイヤキール赤道の国

日本の商社マン 15 名でいつもたむろ

ガイヤキールで名古屋の戸倉建設さんと出会う

紅白歌合戦のビデオを送って頂き現地在住の日本人と鑑賞みんなおお喜び

この国は、泥棒・強盗 政情不安による過激なデモが多い

・アルゼンチン 赴任して間もなく英国とフォ克蘭ド戦争が勃発 商売にならず

しかし、南米人の特質か、町人はタンゴのリズムで踊っていた

通貨もメチャクチャで、債務不能は日常茶飯事

馬肉を少量買入れ日本に向け輸出 この国の先住民に馬を食べるとは言えない

理由：1530 年スペイン人ピサロはたった 37 頭の馬と 180 人の兵で南米のインカ帝国を滅ぼす

このため馬は恐怖の対象

早々に切り上げ 南米大陸南端パタゴニアへ向かう

南極大陸に近いせいか、大型の魚が多いのにビックリ 畳 2 帖もあるオヒョウ（ナメタカレイ）には感心した。

近くにマゼラン海峡があり、世界一周航海で航過経験あり

★ 小山ガバナー補佐ご挨拶



- ・前半は、色々な行事に各所から参加いただき「奉仕と友情」を实践できた。
- ・3月4日花泉ロータリークラブ主催で行われるI・Mは、三陸ブロックからは1クラブ5名迄との規制があるが、ぜひ参加いただきたい。
- ・地区の短期留学派遣生に東高校の佐々木君が選ばれたことおめでとうございます。
- ・残りあと4か月となりましたが、よろしくお願いいたします。

※ IAC 三年生解散会（2/18 東海新報朝刊にも記事掲載）

コロナ禍で今年度も三送会としては実施できず、17日（金）14時より東高校にて開催。

学校側から 副校長先生 IAC 顧問教諭 和賀先生 佐々木先生

西クラブから 古内会長 高木青少年奉仕委員長 新沼達央 IA 小委員長が出席



大船渡東高等学校

インターアクトクラブ

★青木 奈々

私は中学でもボランティア活動を積極的に行っていました。高校でも、誰かのために役立つ活動を行いたいと思い、インターアクトクラブに入りました。

今までの活動の中で特に印象に残っているのは「東南アジアに絵本を贈ろう」の活動です。中学の頃からこの活動に参加してきましたが、小さな子どもたちがニコニコして絵本を見ている姿はとてかわいくて、すごくやりがいを感じた活動でした。他にも様々な活動を行いましたが、今までよりさらにボランティアを続けていきたいと思いました。
(進路：柴田学園大学)

★大森 杏雛

私は文化部発表会の運営補助と「東南アジアに絵本を贈ろう」の会に参加しました。インターアクトクラブでの活動は約1年ですが、他の部活を行いながら地域の方々と交流できるところが魅力だと思います。

私は、文化部発表会で受付をしましたが、演奏を見に来てくださった方々とたくさん交流することが出来ました。良い発表会にしてもらうためにサポートをすることも大切だと思いました。

絵本を贈ろうでは外国の方と本をとおして交流することができ、嬉しかったです。日本の絵本に現地の言葉シールを張り替えるだけですが、気持ちを込めて丁寧に張るようにしました。

残念ながら中止になってしまった活動もありましたが、楽しい活動ばかりでした。

(進路：仙台青葉学院短期大学)

★小澤 彩花

私は2年生からインターアクトクラブに入りましたが、花壇整備や募金活動をとおして、地域に貢献することの大切さを改めて知ることが出来ました。絵本を贈ったり、サンリアで募金活動をしたりして、自分が直接関わらなくても誰かの役に立っていると思い、参加して良かったと感じました。

また、文化部発表会の補助として、司会を務めたのも、とても貴重な体験となりました。人前に立って話すのは好きなほうなので、自分の得意なことを生かすことが出来て良かったです。

(進路：山形県立米沢女子短期大学)

★金野 亜弥 (部長)

昨年に続き、コロナ禍で活動が例年より少なかったのですが、一つひとつの活動にしっかり取り組めたと思います。花壇整備は私が部長となり、初めてのインターアクトでの活動でしたので、力を入れて行いました。地域の方たちと一緒に活動できるめったにない機会でしたのでとても勉強になりました。

年次大会は昨年の先輩の資料を元に作成し、緊張しましたが落ち着いて発表することができました。他校のインターアクトの活動の様子を知ることができました。私たちがしたことのない活動もあったので、とても参考になり、やってみたいと思いました。少ない活動でしたが、3年生のみんなとの活動は楽しく、大学でもボランティア活動を続けたいと思いました。
(進路：尚絅学院大学)

★佐藤 伎香 (副部長)

花壇整備では、ロータリークラブの皆さんや警察署の方と交流しながら作業をし、きれいな花を植えることが出来ました。仕上がった花壇を見て地域の方に喜んでもらえると思うとやりがいを感じました。

募金活動や東南アジアに絵本を贈る活動は、困っている人のために行動することとなり、自分の活動が少し

でも役立っていればよいなと思います。

文化部発表会の補助では、太鼓部や吹奏楽部に良い発表をしてもらうための手伝いが出来ました。宮城で行われた年次大会では、活動発表や交流会をとおり他校の幅広い活動を知り、参考になりました。

今後、岩手から離れても地域の活動に積極的に参加していきたいと思います。

(進路：仙台スイーツ&カフェ専門学校)

★佐藤 美鈴

様々な活動を通して、特に警察署前の花壇整備が一番思い出に残っています。インターアクトの様々な活動の中でも、地域の方、ロータリークラブの方と多く関われる、連携できる活動であったからです。花壇整備では、ロータリークラブの方と協力したり、学校のことについて話したりすることができました。私は、話すことが苦手だったけれど、インターアクトに入ってみると楽しいことばかりで、徐々に話すのはこんなに楽しいんだと気づくことができました。

今後、私は碁石給食株式会社で働き、利用者さんに笑顔になってもらえるような食事作りをしていきたいです。そして、社会人として働いていくので、社会人としての自覚を常にもち、生活していきたいと思います。幅広い年代の方と一緒に仕事をしていくので協調性や信頼関係も大切にし、インターアクトでの学びを活かしていきたいです。そして、仕事に慣れた際には、自ら地域の貢献できるような活動にも取り組んでいきたいし、誰からも信頼を得られるような大人になれるよう頑張りたいです。

(進路：碁石給食株式会社)

★佐藤 るな

花壇整備で地域の方々と交流しながら活動したり、募金活動を行ったのが印象に残っています。募金活動では呼び掛ける側の大変さを学ぶことができました。

また、「東南アジアに絵本を贈ろう」の会では東南アジアの子どもたちの現状を知り、少しでも手助けすることができたかと思います。クリスマスプレゼントの準備では、相手のことを思いながら準備を重ね、良いものを贈ることができました。

インターアクトクラブでは、インターアクトだからこそ、体験できた活動が多くあり自分自身を成長させることができました。

(進路：宮城調理製菓専門学校)

★鈴木 美羽 (監事)

高校生活の3年間、インターアクトクラブの活動をとおして、人のために動くことの楽しさを感じることができました。発表会の運営補助や花壇整備は運営されていく様子を直接見ることもできたので、特にやりがいを感じました。ロータリークラブの皆様と一緒に活動していく中で、様々な世代の人と交流することができたので、この経験を社会で生かしていきたいです。

近年では、戦争や災害で生活が不安定になっている人も増えているため、今後は積極的にそのような方を支援し、助けることをしていきたいです。

ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

(進路：県医療局)

★山田 美空

私はインターアクトの活動をとおして、募金活動や献血の呼びかけを行って、たくさんの方が協力してくださるので、ボランティア活動は参加することで多くの人を助けられることを改めて知りました。

「東南アジアに絵本を贈る」活動は、1冊の本にシールを貼っていくのは時間もかかるので大変でしたが、絵本を受け取る子どもたちに喜んでもらえるのは嬉しいので、頑張って良かったと思いました。

ボランティア活動の準備は人数も少なく大変でしたが、ロータリークラブの方々が手を貸してくださり、花壇整備や募金活動などを円滑に進めることができました。クラブの活動も最初は大変と思っていたけれど、今は活動をすることで、誰かを手助けできるのはとても嬉しいことだと思いました。

インターアクトクラブの活動を支えてくださり、本当にありがとうございました。

(進路：株式会社ヤヨイサンフーズ 気仙沼工場)

※ 顧問の和賀先生が、コロナ禍で通常の活動ができず、大人の方と触れ合う機会が少なかったのが残念だったとおっしゃっていました。

警察署前花壇整備



就職模擬面接会時 個別のアドバイスにも感謝



大曲ロータリークラブ主催の「出前餅つき」(2/19 東海新報朝刊に記事あり)

2月18日(土) 13時～ コロナ禍で2年間開催できなかった「出前餅つき」を福祉の里で実施



出来上がった餅は
小豆餅・きな粉2種類 ゴマ餅にし
大洋学園生・職員
成仁会職員の方々
公園に遊びに来ていた親子連れ
沢山の方に食べて頂きました。